

### 政治家のリーダーシップについて

真のリーダーとは

松田直久 議員

(新政みえ/旧一志郡選出)

#### 問

リーダーの資質とは、広い分野で強い意志をもち、自らさまざまな人たちに働きかける行動力と、多くの人たちの思いについて理解できる感性をもち、いろんな考え方について判断し、決断ができる才能ではないかと考えます。全世界で読まれているニュース週刊誌で、日本人は、管理能力は優れていてもリーダーシップに欠ける。政治家は、同意と協力を得ようとし、共謀はしても徹底した議論はしないと、辛口な意見が書かれていました。

同じ政治家として、知事は、リーダーの資質について、どのようにお考えになるのか、お聞きいたします。



#### 答

政治家としては、時代認識をしっかりともち、将来を見通す力が非常に大事であり、それを国民にわかりやすく説いていくことが必要と思っております。しかし、決して大衆迎合であってはなりません。そして、そのなかで信念を貫いていくことが大事ではないかと考えています。

指導者もいろいろなタイプ・個性があり、信念やその表現の仕方も違います。私は、時代背景によって、求められているリーダーシップの像は、違ってくるのだらうと思っております。

● その他の質問事項  
○ 地方分権について

他

### 文化力による地域づくりについて

地域づくりの具現化を

野田勇喜雄 議員

(自民・無所属・公明議員団/尾鷲市選出)

#### 問

「地域の絆」を核に地域の文化・伝統を新たな展開として進め、輪を広げていくことにより、地域の信頼と安心が深まると考えます。



熊野古道「八鬼山越え」

熊野古道への来訪者が地域へ何を求めているのかを把握し、地域の生活習慣、文化や伝統等を掘り起こし、地域の人々が改めて良さを知り、地域を再生させることにより、それに呼応し多くの来訪者が集まると思われます。そうなる地域は、文化力から生まれる一つの成果と考えます。まず、モデル化としてはいかがでしょうか。

文化力による地域づくりをどのようにしようと考えているのか、お尋ねします。

#### 答

「みえの文化力指針(仮称)」の中間案でも、政策展開の方向として、地域を元気にする、交流人口の拡大や、産業を元気にする、「住んでよし訪れてよし」の観光地づくりを示しています。

具体的には、地域住民とのふれあいや、体験学習の重視、癒し志向といった観光客のニーズも踏まえた滞在型観光を支える環境整備や、地域の特性や独自性を生かしたエコツーリズム、グリーンツーリズムの推進などを検討項目としています。なお、事業展開については、中期戦略計画で本格化したいと考えています。

● その他の質問事項  
○ 産業廃棄物のあり方について

他

### 指定管理者制度導入について

地域戦略に制度活用を

森下隆生 議員

(新政みえ/旧伊勢市選出)

#### 問

指定管理者制度とは、公の施設の管理運営を、法人その他の管理者を指定し施設の管理を行わせる制度です。その狙いは、官から民への事業移管の推進と、民間参入拡大により官製市場を見直してサービスを民間に開放し、住民のニーズにあう効率的かつ充実したサービスを展開しようとするものです。

しかし、実態は大部分が官から官への移行という状況であります。

制度導入について、単に経費削減と捉えていなかったか、また、地域マネジメントの戦略として総合的な視点から県行政に位置づけるべきと考えますが、知事の所見をお尋ねします。

#### 答



指定管理者制度が導入される県営サンアリーナ

設置目的や性格を踏まえ、県がめざす施策実現への寄与、利用者が利用しやすく、事業内容の向上・充実など県民サービスの向上、施設の効率的な運営等による経費削減の三つの視点で選定を進めました。

議案として提案している団体の管理方針は、県が求めた政策的な視点と合致し、県全域の地域づくり、暮らしづくりにも資するものです。当該施設の管理運営が、県の政策の実現につながるよう、設置者としての責任を果たしていく考えです。

● その他の質問事項  
○ 耐震強度偽装問題に係る県の必要な対策について

他

### 医療政策について

三重大学医学部附属病院への救命救急センターの早期設置を

溝口昭三 議員

(自民・無所属・公明議員団/旧津市選出)

#### 問

救命医療の最後の砦は救命救急センターであると示され八年余りが経過しますが、県都津市を含む中勢・伊賀地区には、いまだにセンターが設置されていません。

ようやく、三重県保健医療計画で三重大学医学部附属病院への救命救急センター設置が明確にされました。また、文部科学省が同病院の再整備計画を来年度予算の概算要求に盛り込み、同病院の再編整備とあわせた設置が期待されています。計画では、工事を三期に分けてありますが、一期工事にセンターを設置する計画なのか、医療計画の整備期間である平成二十年中に設置できるのか、今後の見通しについて知事にお聞きいたします。

#### 答

計画では、来年度から平成三十四年度までに病棟、診療棟、外来棟を三期に分けて整備するもので、その実現に向け、国へ予算の採択を要望しています。



三重大学医学部附属病院

中勢伊賀保健医療圏への救命救急センターは、三重大学医学部附属病院への設置に向け同大学と協議中でありますが、整備計画との関連、医療従事者の確保など多くの課題が残っています。今後、整備計画のなかでも、早期な救命救急センターの設置を国に要望するとともに、津市等とも連携しながら、支援策など検討を続けたいと考えています。

● その他の質問事項  
○ 知事の政治姿勢について

他